

## 1. 現状の課題

現在、関東支部において幹事会への周知や連絡はメーリングリストで周知されており、詳細はホームページでも確認が取れるよう情報連携をしていることで、幹事各員への周知や変更連絡などがタイムリーにとれる状況にある。一方、総会の案内と幹事会への一般参加の呼びかけは葉書による通達と個人個人への個別連絡など連絡手段が限られているため、総会の出欠は同手段による連絡を行っているが、なかなか効率が上がらない状況にある。この状況は特に若い世代への連絡が困難であり、結果として参加者の平均年齢が高くなる傾向にある。今後同窓会支部会が安定的に運営していくためには若い世代の参加は必須であり、若い世代の卒業生に対し迅速でかつ低コストの連絡方法への移行が喫緊の課題となっている。

## 2. 課題への対策案

若い世代間の連絡方法は電子メールや携帯メールが一般化しており、封書や葉書での連絡は煩雑と感じる人も多いとさえ言われている。このような状況では、転居をしても変更の少ない電子メールアドレスの取得と確実なメンテナンスが重要となるため、住所や電話番号と同等に電子メールアドレスを扱うことが重要である。上記の観点から電子メールアドレスの取得方法について関東支部として以下のとおり提言する。

### (1) 大学または同窓会からメールアドレスを配布

卒業後も定期的な連絡を取れるよう、終身で利用可能なメールアドレスを大学側または瑞若会が配布をする。しかし、最近のメールの運用は SPAM(インターネットによるダイレクトメール)対策やSMTP(簡易メール転送プロトコル)サーバーの踏み台対策等が必須となり管理責任と運用コストがかさむことから、Google メールなどで代替する案を提案する。

### (2) 卒業時の個人のメールアドレスと就職後の会社の個人メールアドレスの取得

瑞若会本部で卒業後の各自の個人メールと会社の個人メールアドレスの取得を必須となるようにお願いをしたい。このアドレス取得は就職先の住所が確定した後となるので、卒業後に最初のメンテナンスが出来るよう卒業生に電子メールアドレスの登録案内をお願いしたい。

### (3) ISPの変更による変更手続きの徹底

ISP(インターネットサービスプロバイダ)の変更や住所変更のためのサービス変更による、メールアドレスの変更時の変更登録をWEBから実施できるようにすることで変更者の負荷軽減とメンテナンス性を向上する。

### (4) WEBの周知事項の充実

書面やメールの通達が不可の場合でも、瑞若会のホームページを参照することで情報を得られるようにする。この内容を充実するため、オープンに周知する情報と会員専用で周知する情報を分け、会員に対しては会員専用ページを利用して周知を行う。

### (5) メールマガジンの発行

卒業生が定期的にホームページを参照することを習慣化するために、瑞若会のメールマガジンを発行する。

以上の施策の組み合わせによる若い世代の参加意識向上を提言致します。